

大分市佐賀関大規模火災 復興計画

『復興から未来へ つながりあふれる佐賀関』

概要版



令和8年8月

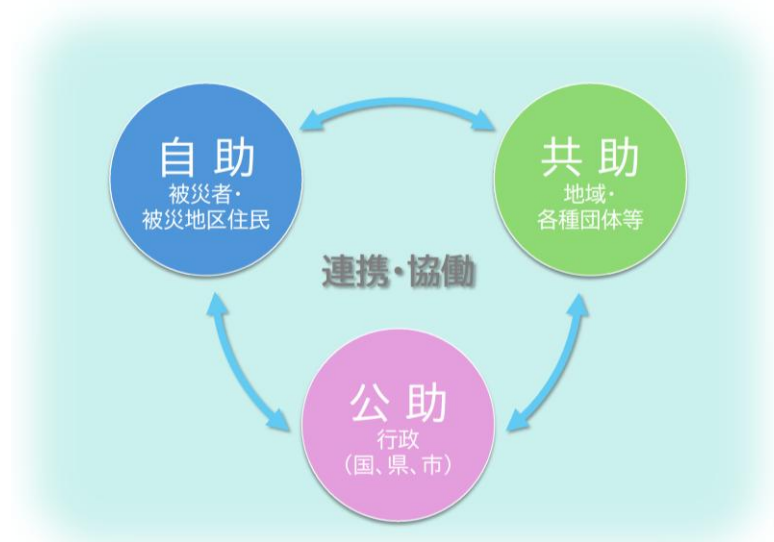


大分市

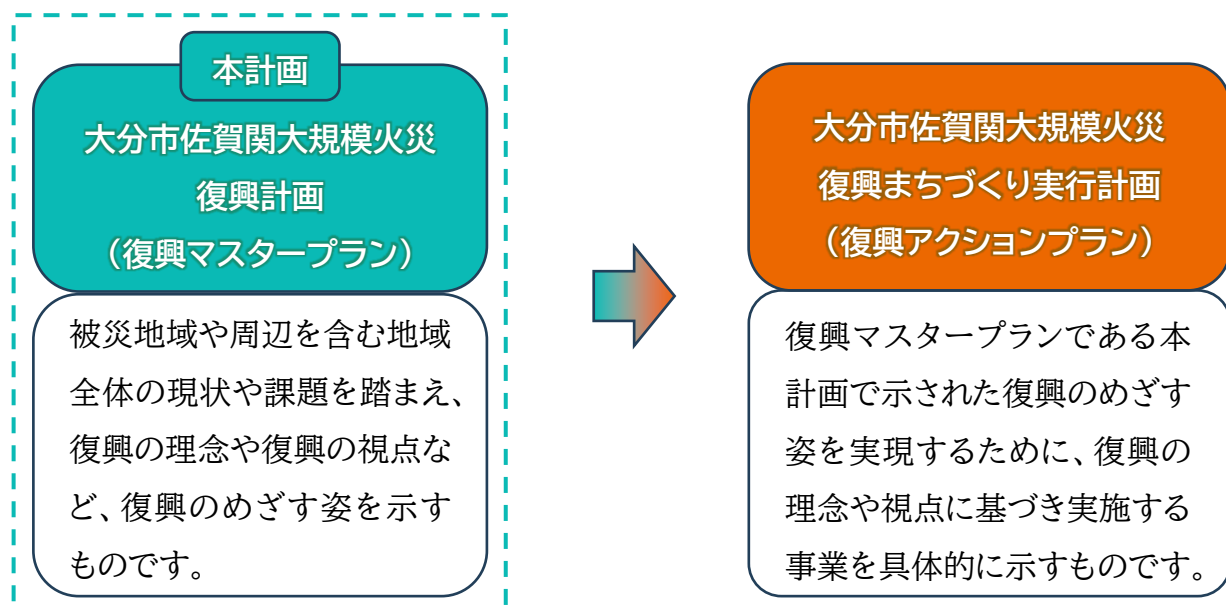


第1章 計画の基本事項

- **計画策定の趣旨**：「大分市佐賀関大規模火災復興計画（以下、本計画という。）」は、被災者だけでなく、地域に関わる全ての方々が理念や考え方を共有する中で、復興のめざす姿を示すとともに、復興に向けた具体的な事業概要を取りまとめる「大分市佐賀関大規模火災復興まちづくり実行計画（以下、実行計画という。）」につながる計画として策定します。
- **復興に向けた役割**：被災者・地域住民・各種団体・行政がそれぞれの役割を認識し、「自助」「共助」「公助」の考え方のもと、一体となって復興を推進していく必要があります。
- **計画の位置づけ**：確実かつ迅速な復興を推進するため、被災地域に関わる方々との対話を重ねながら、「本計画」と「実行計画」を策定します。



「自助」「共助」「公助」の関係性

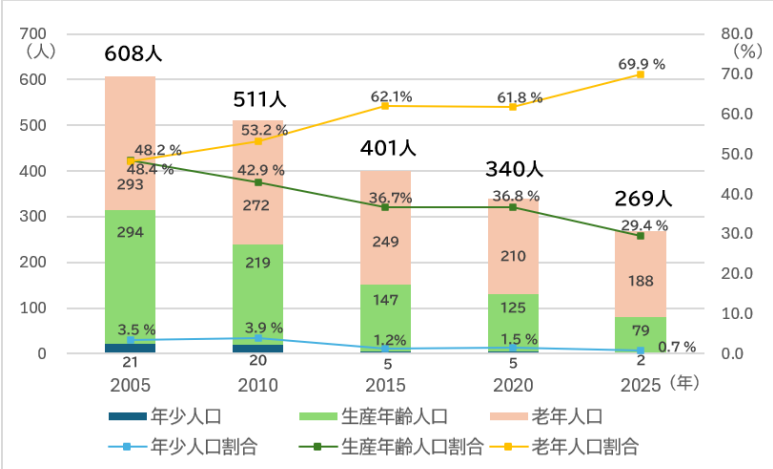


計画の位置づけ

第2章 佐賀関大規模火災の概要

被災地の特性

- 被災5地区(田中1、田中2、田中3、東町、神山)は海岸部と背後の急斜面に挟まれた狭小な土地に住宅が密集する地区となっています。
- 人口は減少傾向、住民の約7割を高齢者が占める深刻な超高齢化が進行しています。
- 幅員4m未満の狭あい道路が大部分を占め、接道義務を満たさない敷地が多く存在します。



被災5地区の総人口および年齢3区分別人口推移
(資料:住民基本台帳)

災害の概要

- 当時、湿度は乾燥注意報発令基準に近く、強風注意報が出ていた気象条件下にあり、さらに狭あい道路に建物が密に並んでいたことから、延焼・飛び火への対応が困難であったため、短時間で広範囲に延焼拡大しました。



被災直後の被災地の様子

日時	覚知	2025年11月18日(火) 17時45分
	鎮圧 半島部分	2025年11月20日(木) 11時00分
	薦島	2025年11月28日(金) 13時30分
	鎮火 半島部分	2025年11月28日(金) 13時30分
	薦島	2025年12月 4日(木) 14時00分
焼失棟数	196棟(住家96棟、空き家75棟、その他25棟)	
焼失範囲	約6.39ヘクタール(約63,937㎡) うち住宅エリア約23,321㎡ ※焼損床面積は約12,563㎡	
消防機関等の活動状況	○現場消火活動 ・大分市消防局 活動人員 延べ 489人 ・大分市消防団 活動人員 延べ 601人 ・防災航空隊 大分県防災航空隊、熊本県防災航空隊、福岡市消防航空隊 ・大分県内(別府市、臼杵市、津久見市、佐伯市、豊後大野市、由布市) 延べ 13台 58人 ○消防局・消防団ともに警戒巡回を実施	

第3章 復興に向けてめざす姿

■ 復興のめざす姿

【復興の理念(復興のことば)】

被災した住民で作る自治組織「田中連合区復興事務局」からいただいた5つの「復興のことば」を、本計画における『復興の理念』として位置付けます。

復興の理念(復興のことば)

復興

復興を果たし、誰もが親しむ地域づくり

みんなが一緒になって復興に取り組み、誰もが帰ってくれる、来てくれる地域づくりを目指します。

安全・安心な暮らし

みんなが笑顔あふれる安全安心な地域づくり

復興市営住宅や道路、防災対策などのインフラが整備されるとともに、人と人、地域と地域が支えあう笑顔あふれる安全安心な地域づくりを目指します。

交流を育む

人と人がつながり、交流を育む地域づくり

関ばつくすや語り部、キーホルダーの作製などの活動を続け、地域コミュニティの維持や新たなつながりづくりを進め、訪れる人との交流を育む地域づくりを目指します。

未来への継承

多様な世代が暮らし、次世代に地域をつなぐ

あらゆる世代がともに暮らし、助け合いの絆をつなぎ、住み続ける地域へ、40年、100年と未来へ続く地域づくりを目指します。

地域の伝統をつなぐ

伝統文化を未来へつなぐ

地域に伝わる「供養盆踊り口説き」や狭い生活道路ゆえの譲り合う「背戸」文化を人から人へとつなぐ地域づくりを目指します。

【復興のキャッチフレーズ】

復興の理念や意見交換会での住民意見を踏まえ、復興のキャッチフレーズを作成しました。

『復興から未来へ つながりあふれる佐賀関』

【復興の視点】

復興における課題や復興の理念を踏まえて、「3つの視点」を掲げ、復興まちづくりを推進していきます。



復興の3つの視点

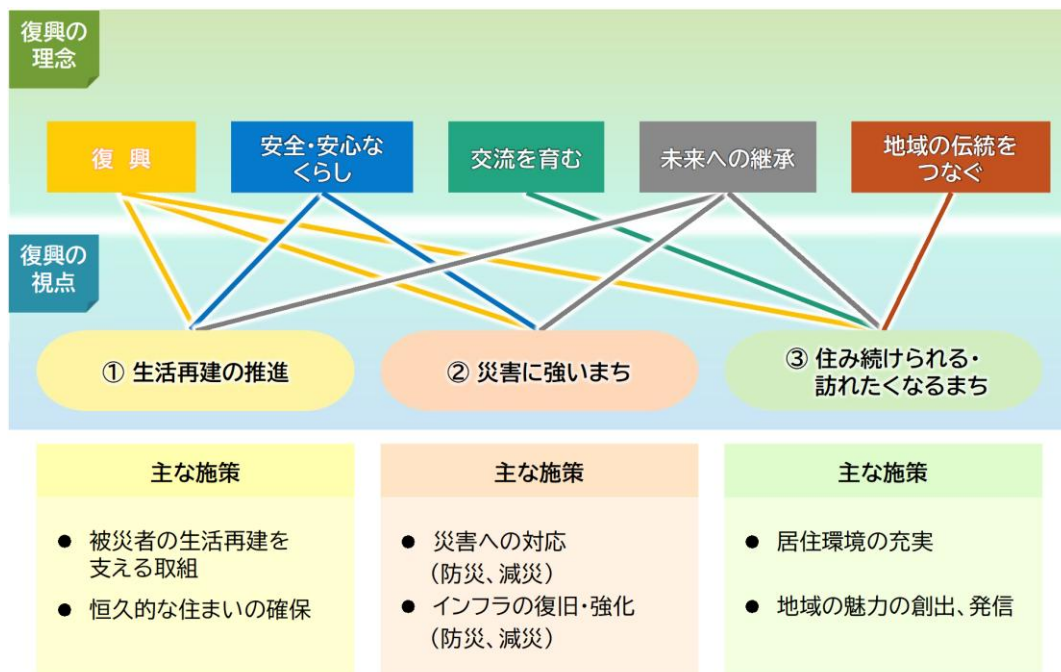
【復興イメージ(計画エリアゾーニング)】



計画エリアゾーニング

第4章 主な施策

- 復興の理念及び3つの視点を踏まえ、復興に向けて重点的に取り組む6つの施策を設定します。
- 各施策に基づく具体的な事業、実施主体、実施時期等については、実行計画において定め、計画的かつ着実に復興を推進します。



復興の理念、復興の視点と6つの施策との関連性

■ 主な取り組みの例

【復興市営住宅の建設】



イメージパース

(事業者選定時の提案資料より抜粋)

※事業者選定時の提案資料であり、形状・色彩・外構・植栽等は変更となる場合があります。

【主要防災道路の整備】



イメージ

【伝統文化活動の継承】



椎根津彦(しいねつひこ)神社の春季大祭

第5章 進捗管理

- 復興のめざす姿を実現するため、2027年3月末までに具体的な施策や事業を示す「実行計画」を策定します。実行計画では、実施すべき事業・施策を具体化し、事業の取組概要・事業主体・スケジュール等を明示します。
- 実行計画策定後、「大分市 生活再建支援・復興本部事務局」において、定期的(概ね1年毎)に進捗を評価し、住民の方々へ適宜報告いたします。併せてホームページ等で公表いたします。

復興計画 (復興マスタープラン)

復興のめざす姿を示します。
復興施策の大きな指針となります。

計画の基本事項

佐賀関大規模火災の概要

復興に向けてめざす姿

主な施策

進捗管理



復興まちづくり実行計画 (復興アクションプラン)

復興計画で示した復興のめざす姿を実現するための具体的な施策を示します。

復興に向けてめざす姿

取り組む施策

編集・発行

大分市佐賀関大規模火災
生活再建支援・復興本部事務局

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

TEL (097) 534-6111

URL <http://www.city.oita.oita.jp>

令和8年8月31日 公表